



山の手通信 3月号

平成 25年 3月 15日
山の手英才教育
NO105

3月の行事といえば、ひなまつり。年長さんにとっては最大のイベント、卒園式をひかえ、不安と期待が入り混じった複雑な気分ではないでしょうか？

卒園式の練習も進み、家では、卒園式の歌や、セリフなどが飛び交っているのではないかと思います。かくいう私の家でも、子どもはまだ年中なのですが、練習をしているのでしょね、よく歌っています。

少しずつ暖かい日も増えて春に向かっていくことを感じさせられますが、それと同時にインフルエンザも流行ってきたようで、生徒さんの中もお休みがちらほら出てきました。体調管理には十分注意して、卒園式に備えて下さいね。

お知らせ

* 3月の休み

- ・ 3月 16日(土)
 - ・ 3月 20日(水・祝)
 - ・ 3月 22日(金)
 - ・ 3月 26日(火)
 - ・ 3月 28日(木)
- ～30日(土)

振替希望の方は、担当者にお伝え下さい。

* 4月のお休み

- ・ 4月 4日(木)

春の入室説明会のお知らせ

今年も開催します。お近くの方で興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介下さい。

日程

- 3月 10日(日) 10:00～那加教室
14:00～光の泉北教室
- 3月 16日(土) 10:00～光の泉教室
14:00～那加教室
- 3月 31日(日) 10:00～光の泉北教室
14:00～光の泉教室

「知能教育の成果」

吉田 真琴

この一年を通じて、皆さんお子さまの成長を感じましたか？

この間、説明に来られた方に「～(教材)ができるようになったという以外で、お子さんに変化がみられることはありますか？」という質問をされました。でも、その答えこそ、知能教育の成果と言えるのではないかと思います。

小さい子では1つの遊びに対する持続時間が長くなった(集中力・持続力がついたということでしょう)と思いますし、大きい子では、以前だったら思考が固まってしまうような場面でも我慢強く考え自分なりの答えを出せるようになったと感じられます。

親子教室では、いつもお話していますが、出来る出来ないではなく、考えた過程を褒めてあげて下さい。いつもより粘り強く考えたこと。模倣しようとしていたこと。自分で方法を見つけようとしていたこと。長く遊べたこと。意欲的にチャレンジしていたこと。自分なりに頑張ってお話していたこと(大人からはつたない感じにみえたとしても・・・)。褒めるべき視点を変えるだけでお子さんは難しいことでも考えることに対して意欲的になっていきます。そして、それは普段の周りの態度で変わっていくのです。

どのお子さんも一年を通じ大きく成長してくれました。また、来年度も更に大きく成長する姿を見せてくれることでしょう。楽しみです。

